

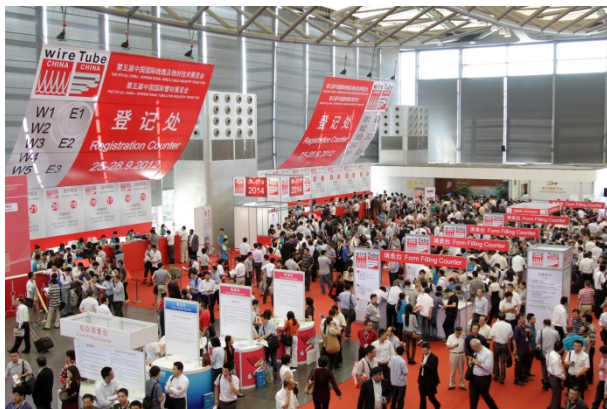
## ファイナルレポート

### wire China 2012 – Tube China 2012

中国国際ワイヤー産業展 – 中国国際管材製造加工・技術展

2012年10月19日

#### 大盛況裡に終了 – 来場者 33,000 超、出展者はおよそ 1,400 社に



『wire China – 中国国際ワイヤー産業展』・『Tube China – 中国国際管材製造加工・技術展』は、メッセ・デュッセルドルフ・上海、上海ケーブル研究所 (SECRI)、中国国際貿易促進委員会・冶金分会 (MC-CCPIT) が共催し、2012年9月25日～28日に中国・上海にて行われ、大盛況裡のうちに閉幕した。両メッセあわせて、史上最多となる 1,396 社(前回 2010 年= 1,306 社)もの企業が、上海新国際博覧中心 (SNIEC) に最新製品・技術を展示、世界中から集結した線・管材業界関係者 33,469 人(うち 3,902 人は中国国外)と活発な商談を繰り広げた。『wire China』・『Tube China』は、世界的に見ても独・デュッセルドルフ開催『wire』・『Tube』に次ぐ規模であり、アジアではもちろん最大級の業界メッセである。なお、日本からは『wire China』へ 8 社、『Tube China』へ 4 社が直接出展している。

#### 前回より出展者数が増加

本年の『wire China』・『Tube China』には 1,396 社が出展し、展示面積も 7.5 ホール・86,500 m<sup>2</sup> に達した(前回開催比+16%)。そのうち、『wire China』が 4.5 ホール・52,000 m<sup>2</sup>、『Tube China』が 3 ホール・34,500 m<sup>2</sup> を占めた。なお、2004 年の初回開催に比べ、出展者数は倍増している。



『wire China』には、ワイヤー・ばね・ねじ製造・加工機械、測定・加工技術関連機器、資材、特殊ワイヤー・ケーブルなど、幅広い線材製品・技術が、そして『Tube China』には、原材料から各種管材製造・加工機械、加工技術・工具・関連機器、チューブ・パイプおよび付属品、計測・制御技術が一堂に会した。

併催プログラムとして両業界の会議やイベントが行われ、『wire China』・『Tube China』は見本市としてだけでなく、業界関係者同士の交流、レクチャーや会議、コミュニケーションの場となり、出展・来場双方から高く評価された。

## 日本パビリオン 2 回目を実現

前回開催に続き、今回も『wire China』にて日本パビリオンが設置され、日本の高品質な製品・技術が効果的に発信された。その他には、英国、イタリア、オーストリア、韓国、スペイン、台湾、ドイツ、フランス、北米がパビリオン設け、前回に比べさらに国際色が豊になった。



## wire China 2014 – Tube China 2014

次回は、2014年9月24日(水)～27日(土)に上海新国際博覧中心(SNIEC)で開催される。

『wire China』・『Tube China』に関する情報・お問い合わせは、[（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](http://www.messe-dus.co.jp)、あるいは下記日本語ホームページをご覧ください。

<http://wire.messe-dus.co.jp> / <http://tube.messe-dus.co.jp>

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当： 橋本 雅弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1  
ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL.: 03-5210-9951  
FAX: 03-5210-9959